

理事長挨拶

令和6年1月



理事長 赤羽 悟美

ポストコロナの薬理学研究は、多様性と統合力を増し新たなステージへと扉を開きつつあります。日本薬理学会は、薬理学会会員の旺盛な学術活動の場を提供するべく、今期の活動目標として「Diversity・Integration・Sustainability」を掲げ、実行いたします。

1. Diversity

- ・日本薬理学会の学術活動を活性化するために、学術団体（日本医学会・日本医学会連合・生物科学学会連合・日本脳科学関連学会連合・日本学術会議 等）の活動を通じて他学会との学術交流を推進し、刺激的で活気あふれる学術活動の場を提供いたします。
- ・世界における日本薬理学会の役割を認識し、IUPHAR（International Union of Basic and Clinical Pharmacology）をはじめ世界各国の薬理学会との国際的連携を発展させてまいります。若手研究者に国際的連携活動に関わる機会と活躍の場を提供します。

2. Integration

- ・日本薬理学会の「知的資産」を継承し、薬理学会会員の学術活動に活用するべく、デジタル・トランスフォーメーション（DX）を推進いたします。
- ・薬理学会年会および各部会における画期的で独創的な学術プログラム企画を支援します。
- ・原著英文誌「Journal of Pharmacological Sciences」から世界に向けて質の高いサイエンスを発信します。総説和文誌「日本薬理学雑誌」は完全オンライン化を目指し、充実したコンテンツを提供します。
- ・産官学の連携を促進するべく、「オープンイノベーション活動」を推進します。

3. Sustainability

- ・次世代を担う薬理学研究者と薬理学教育者に活躍の場を提供し、人材育成に注力いたします。
- ・薬理学会会員がさまざまなライフイベントを通して学会活動を持続し活躍できるよう、支援する取り組みを進めます。
- ・学会活動を支える財政基盤の安定化とサステナブルな事務局運営体制の整備を進めてまいります。

日本薬理学会創立100周年に向けて更なる発展を目指して目標を実行する所存でございます。会員の皆様のご理解と一層のご支援ご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。